



学校だより 第9号

令和2年8月7日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明

有意義な夏休みになるよう、ご家庭での指導をぜひお願いします

校長 佐藤 浩

本日で一学期が終了し、いよいよ明日から夏休みに入ります。一学期は、四十八日間でした。例年が七十日ほどですので、かなり短く感じたことと思います。四・五月は学校が臨時休業となり、生徒は家庭での学習を余儀なくされました。ようやく六月から分散登校が始まり、学校全体が通常登校に戻ったのは、六月二十九日でした。

今年の一学期はこれまでとは全く違ったものであり、生徒は、先が見えない中で、家庭に留まり日々の生活を送ることの厳しさを経験したものだと思います。学校再開後、毎日授業を受けることのできる幸せ、部活動で自分の好きなことに集中して取り組むことの楽しさや充実感などを、改めて感じることであったのではないのでしょうか。

また、家庭での学習と学校再開後の学習を通して、様々な知識を身に付け、技能も高めたことと思います。さらには、何よりも心の面が成長し、人を思いやる行動、互いに助け合う行動など、中学生にふさわしい適切な行動がとれるようになってきていると思います。一学期の様子を見る限り、二月末の臨時休業に入る頃に比べ、生徒一人一人は大きく成長したと実感しています。

本校生徒を含め世界中の多くの若者が新型コロナウイルスとの関わりを通して、自分ができることや、やらなければならないこと、つまり、自分の使命を深く認識したことと思います。また、この経験を将来的な技術開発や、文学、芸術分野まで幅広く生かそうと考えた人も、多数いたのではないかと思います。日々成長する生徒には、身をもって体験した試練の重さを今後の人生の糧にして欲しいと願っています。

今年はわずか十七日間と、とても短い夏休みですが、お子様がこの夏休みを有効に活用して、普段なかなかできないことにチャレンジし、大きく自らを成長させられるよう、ぜひご家族でも指導をお願いします。

夏休みの共通課題「1学期の積み残しをなくすこと、何か一つ積極的に体験すること」

- 本日の修了式で、全校生徒に対して、夏休みに最低限やって欲しいこと（本校生徒の共通課題）として、次の2点について話しました。
- 第1は、1学期の積み残しを無くす。つまり、期末考査でできなかったところは必ずやり直し、この次にはできるようにしておくこと。そして、出されている宿題は必ず、自分の力でやり遂げること。第2は、何か一つ、自分の興味や関心がある事柄について、積極的に体験したり調べたりすること。です。
- ご家庭においても、お子様とこの2点について話し合うとともに、しっかりとやり遂げるよう、指導をお願いします。
- 事件や事故に巻き込まれることなく充実した夏休みになること、そして、8月25日（火）には、全校生徒が元気に登校し、たくましくなった姿を見せてくれることを楽しみにしています。

令和2年度「平和のポスター展」で、本校生徒2名が最優秀賞を受賞しました！

新宿区教育委員会が主催する令和2年度平和のポスター展が行われ、1,500を超える応募作品の中から、中学生3名、小学生3名、計6名の作品が最優秀賞に選ばれました。

本校では3年生のAさんとBさんの2名が見事に最優秀賞を受賞しました。中学生の最優秀賞受賞者3名のうち、2名が本校生徒であり、改めて本校生徒の実力を知ることができました。

最優秀賞受賞、本当におめでとうございます。

なお、その他に、3年生のCさんが優秀賞を受賞しました。

コロナ禍で、明るい話題のない1学期でしたが、AさんとBさん、そして、Cさんが1学期最後にわが新宿西戸山中学校に、明るい話題を提供してくれました。また、本校生徒のこれからの様々な活動に勢いをつけてくれました。ありがとうございました！

■最優秀賞受賞作品を紹介します。

3年 Aさん

「同情より行動を」



★平和について訴える力がある作品が選ばれたということでした。見た方々の心に響く作品です。

3年 Bさん

「平和の光を生かそう」



■表彰式に参加してきました。

令和2年8月6日（木）、新宿区立教育センターにおいて、「令和2年度平和のポスター展最優秀賞表彰式」が行われました。本校からは、Aさんが参加しました。

新宿区教育委員会の酒井敏男教育長から賞状と記念品をいただきました。



8月6日、広島は75回目の原爆忌を迎えました。今年は世界各地に広がった新型コロナウイルスの影響で、被爆地でも地域ごとの慰霊式が相次いで中止となり、平和記念公園における平和祈念式典も、参列者の人数を大幅に縮小して営まれたとのことでした。

全校生徒の皆さんには、今回の平和のポスター展のAさんとBさんの作品、「同情より行動を」「平和の光を生かそう」に込められた、それぞれの思いや願いを想像するとともに、その上で改めて「平和」についてじっくりと考え、「行動」して欲しいと思っています。